

肥満率の高い地域に住むと親子とも肥満に

一部の地域での肥満率の高さが、社会的伝染や環境の共有などの社会的、地理的な要因によるものかについてはよくわかっていない。本研究では、米国の陸軍兵士とその家族が肥満率の高い地域に配属された後、過体重や肥満のリスクが上昇するかどうかを検討した。

米国 38 か所の軍事施設に配属された陸軍兵士とその子供（12～13 歳）の合計 1,519 組（親 1,314 人；父親 56%、子ども 1,111 人；男児 52%）が対象となった。陸軍兵士とその子供の BMI、各地域の娯楽施設や店舗などの共有環境について調査し、それぞれの地域の肥満率を算出した。その結果、肥満率の高い地域に配属された親子は、肥満率の低い地域に配属された親子と比べて過体重や肥満になりやすいことが示された（補正後オッズ比：親 1.05、子 1.04）。共有環境による影響を考慮しても、同様の傾向がみられた。

したがって、肥満率の高い地域に住むと、親子とも肥満になりやすい可能性が示唆された。今回の結果からは、肥満の社会的伝染についてのエビデンスは得られなかった。

出典：Journal of American Medical Association. Pediatrics. 2018 Jan 22;

doi: 10.1001/jamapediatrics.2017.4882